◇下田を知っていただくためのステップ

全国的に移住や交流居住が盛んになる中で、インターネット等による情報収集が盛んになっており、自宅に居ながら、パソコンの画面で、住まい、仕事、風景、口コミまで知ることができる時代になっています。しかし、画面の情報はあくまでもバーチャルなものです。

もし情報と異なる場面があっても、旅行や一時的な滞在であれば我慢することもできますが、移住や交流居住で長く生活する場合は、こうした小さなズレが失望につながります。

やはり、移住という大きな決断をするためには、この地域に実際に足を運んでもらい、現地の風景、気候、雰囲気、人柄などに触れて、納得していただくことが必要です。

そこで、移住を検討するために、「移住候補地」として下田をより深く知っていただくための３つのステップを紹介します。

ステップ①

◇ 短期滞在期（観光地として年に数回下田を訪れる）

下田市は首都圏からの観光地として知られています。まずは皆さんのお気に入りのテーマ、お気に入りの場所、お気に入りの食べ物を目的に、気ままな観光客として短期滞在で何度もお越しいただくことをお勧めします。

下田を知り、好きになっていただくために。市内の宿泊施設に滞在して、下田を隅々まで見ていただくことができます。まずは「観光」で下田を楽しみましょう。

ステップ②

◇ 往来期（お気に入りの場所として行ったり来たりする）

週末や休暇を利用して都会と下田を行き来し、都会での生活と田舎暮らしの両方を楽しみましょう。都会に生活基盤をおきながら、田舎のセカンドハウスや貸家などを利用して、都会生活(日常生活)と田舎暮らし(余暇時間)を両立させることをお勧めします。

首都圏からは、日帰りも可能、週末仕事が終わって下田へ来ることも可能。下田は、都会と田舎のどちらも満喫できる、往来型にぴったりの交通アクセスを持っています。

ステップ③

◇ 定住期（どっぷり下田暮らし）

仕事や生活の基盤をがっちり下田において、必要なときにだけ都会に戻るスタイルです。短期滞在や往来を重ねることで、住宅、仕事、趣味を選び、自分のライフスタイルが描けた人には、思い切って決断していただくことをお勧めします。

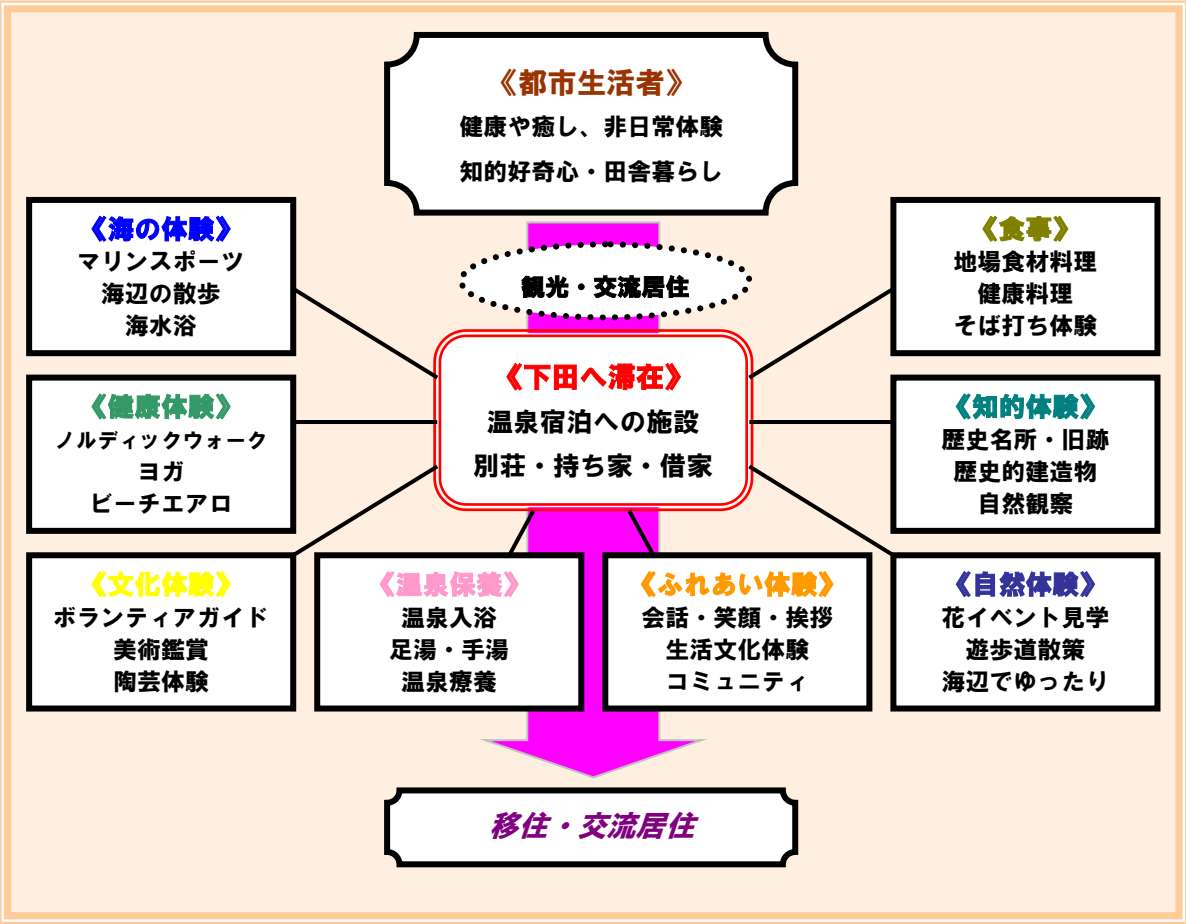
どれだけ調べても、どれだけ下見しても、どれだけ考えても不安は消えません。
最後は、「下田が好き、下田へ住みたい」その思いを信じて、思い切って決断しましょう。

皆さんの夢をかなえるため、少しずつステップを上りましょう。目指す田舎暮らし、希望する生活スタイル、そして仕事やご家族、資金との関係などを十分に検討して、それぞれの目的に合った田舎暮らしを見つけてください。

◇下田を知ろう（ステップ①の方法）

下田市は、首都圏からの代表的な観光地として知られています。自然、歴史、文化などを活かして、四季を通して様々な楽しみ方があります。まずは皆さんのお気に入りのテーマ、お気に入りの場所、お気に入りの食べ物を目的に、観光客として何度もお越しいただくことをお勧めします。そして、そこから、まちで出会う様々な新しい魅力を拾い集め、皆さんの下田ライフのイメージを創っていきませんか。

下田市の目指す探索イメージは、宿泊施設、別荘、持ち家等への滞在を核として、自然体験プログラム、まち歩き、観光名所、食事等のメニューを体験してもらうことです。



下田市では、本市の特性を活かした下田でしか体験することができない滞在プログラムをご用意しています。皆様の滞在時間、滞在目的、ご希望に合わせて、組み合わせていただき、ご自分だけの下田物語を創ってください。

《下田の観光情報は下記へどうぞ！》

下田市役所観光交流課　TEL: 0558－22－3913　ＨＰ：http://www.city.shimoda.shizuoka.jp

下田市観光協会　TEL: 0558－22－1531　ＨＰ：http://www.shimoda-city.info

下田体験プログラム「し～もん」

TEL: 0558－22－5255　ＨＰ：http://seamon.info/

◇下田を知る:不動産情報

〔土地や建物の確保〕

移住・交流居住を検討する際の課題のひとつに住宅の確保があります。下田市は、リゾート地という土地柄、たくさんの民間不動産業者があり、それぞれホームページなどで、一戸建て、借家、マンション、アパートなど多様な民間物件を紹介しています。移住に向けて下田市内の土地や建物(購入・賃貸・別荘)を探すときは、こうした不動産業者をご利用ください。市内にある業者は、地域や物件などの得意分野がありますので、こまめに情報収集されることをお勧めします。初めての場合には、「静岡県宅地建物取引業協会東部支部」や「全日本不動産協会」等のホームページの情報をご利用いただくと便利かと思います。

また、下田市では、民間物件では取り扱わない古民家やリフォームが可能な物件などをご紹介するために、「下田市空き家バンク(下田市主催)」を開設しております。「NPO 法人伊豆 in 賀茂 6」と協力して、物件の照会、ご案内を行っていますので、ホームページ等でご確認いただくとともに、積極的にお問い合わせください。

田舎暮らしの物件は、なかなか不動産情報に上がってきませんが、案外個人的なつながりの中でお気に入りの物件に出会える場合があります。我慢や無理をして高価な物件をいきなり購入するより、賃貸物件や体験訪問等を交えながら、チャンスを待つことも一つの方法かもしれません。

土地や建物に関しては、高い買い物ですし、これから長い付き合いになるものですから、インターネットや電話だけで安易に決めることなく、必ず現地に足を運んで、周囲の状況や予想される生活環境などを確認していただくことが重要になります。

◇下田を知る仕事情報

～下田で暮らすための仕事情報！『下田でワーク・ライク・バランスを実現しよう』～

〔仕事について〕

下田市は観光業を中心とした産業構造となっており、国勢調査の産業分類で見ると、約 8 割の人が第 3 次産業に従事しています。仕事の内容では、主に宿泊業、飲食サービス業、卸・小売業が多く、また高齢化が進行する中で、医療・福祉関係の仕事も多くなっていますが、“土日休みの一般事務”といった仕事は少ないのが現状です。しかし、職種を問わなければハローワークに出される求人数は多いので、こまめに情報を収集し、生活スタイルに合わせて仕事内容や勤務時間など幅広く狙うと、良い仕事に巡り合うことができます。また、一般の求人にはなかなか出ないけれど、実際に下田市で生活をして知り合いが増えていくと、思わぬスカウトが舞い込むこともあります。

また、最近流行しているのは「ワーク・ライク・バランス」や「半農半Ｘ」といった、仕事と好きなことの両方を楽しむためにご自分のライフスタイルや季節や気候、曜日などに合わせていくつかのお仕事を掛け持ちする、そのような働き方も増えています。

田舎暮らしとして、農林業や漁業を希望される方も増えていますが、法律や権利関係、技術や技能の習得など、かなりの時間が必要となる場合もありますので、県や市などの専門機関に相談したり、従事者や経験者からじっくり話を聞くことをお勧めします。

＜相談窓口＞

＜就職したい！＞	
ハローワーク下田 （下田公共職業安定所）	☎ 0558-22-0288 下田市 4-5-26 http://www.shimoda-cci.or.jp/hellowork.htm
＜農業をはじめたい！＞	
静岡県賀茂農林事務所	☎ 0558-24-2076 下田市中 531-1
公益社団法人 静岡県農業振興公社	☎ 054-250-8988 静岡市葵区追手町 9-18 http://www.shizuoka-nk.or.jp/shunou/
＜林業をはじめたい！＞	
公益社団法人 静岡県山林協会	☎ 054-255-4488 静岡市葵区追手町 9-6 県庁西館 9 階 http://www.moritohito.jp
伊豆森林組合	☎ 0558-23-6116 下田市河内 399 http://www.izumori.jp
＜漁業をはじめたい！＞	
伊豆漁業協同組合	☎ 0558-22-3585 下田市外ケ岡 11
＜農林漁業全般の相談は市役所へ＞	
下田市役所産業振興課	☎ 0558-22-3914 下田市東本郷 1-5-18

静岡で農業人になるためのノウハウから農地・住宅情報など、就農するまでの様々な情報を紹介しています。

◇下田への交通アクセス

首都圏から下田へお越しになる場合は、電車またはお車のご利用になります。所要時間は、電車をご利用いただくと約３時間、お車をご利用いただくと約４時間を目安にしてください。アクセスによっては、首都圏からは日帰りも可能です。

しかし、お車の場合、夏季やＧＷ，連休などの行楽シーズンは途中渋滞が発生する場合が多く、５時間から６時間もかかる場合がありますので、ご注意ください。

◎電車をご利用の場合

・新幹線を利用：所要時間約２時間 20 分
　東京⇒(新幹線)⇒熱海⇒(ＪＲ伊東線・伊豆急行線)⇒下田
・特急電車を利用：所要時間約２時間 40 分
　東京⇒(サフィール踊り子号・踊り子号)⇒下田

〔参考・東京との始発と最終〕　※観光シーズンにはこれ以外に臨時列車が増発されます。

◇東京⇒下田：新幹線利用の場合	**始発**	**＝**	**東京駅　6：33 発**	**⇒**	**下田駅　8：51 着**
	最終	**＝**	**東京駅 20：27 発**	**⇒**	**下田駅 23：15 着**
特急利用の場合	**始発**	**＝**	**東京駅　9：00 発**	**⇒**	**下田駅 11：50 着**
	最終	**＝**	**東京駅 13：00 発**	**⇒**	**下田駅 15：43 着**
◇下田⇒東京：新幹線利用の場合	**始発**	**＝**	**下田駅　5：39 発**	**⇒**	**東京駅　8：00 着**
	最終	**＝**	**下田駅 20：24 発**	**⇒**	**東京駅 23：18 着**
特急利用の場合	**始発**	**＝**	**下田駅　9：52 発**	**⇒**	**東京駅 12：32 着**
	最終	**＝**	**下田駅 16：01 発**	**⇒**	**池袋駅 19：05 着**

（※令和３年４月１日現在）

★伊豆急行線には、ロイヤルエクスプレス、サフィール踊り子、きんめ列車等の新型車両が走っています。

◎お車をご利用の場合

・東名高速道路を利用：所要時間約３時間 30 分
　東京⇒(東名高速道路)⇒沼津ＩＣ⇒（伊豆縦貫自動車道路)⇒（Ｒ414）⇒下田
　又は（新東名高速道路）⇒長泉沼津 IC⇒（伊豆縦貫自動車道路）⇒（R414）⇒下田

★海岸線の風景を楽しむなら、東名厚木ＩＣ＝小田原厚木道路＝国道 135 号がお勧め

下田市内の公共交通機関《路線図 P26》

下田市内の公共交通機関は、電車、バス、タクシーがあります。しかし、路線数、便数ともに少なく、また各種の施設もあちこちに点在をしていることから、公共交通機関による移動は大変不便なのが実情です。特にバスは、地域によっては１日に数本という場所もあります。

市内での自由な移動をご希望される場合は、可能な限り自家用車を確保されることをお勧めします。ご希望される場所の交通状況については事前に十分ご確認ください。

◇下田の暮らしのあらまし

〔医療環境〕

市内には、病院が２機関、診療所・医院が 18 機関、歯科医院が 12 機関あります。一般的な診療には十分な診療科目や機関数がありますが、専門治療や高度医療を行うことができる医療機関や産婦人科が少ないのが現状です。

救急医療では、救急センター等の専門の受入施設はありませんが、市内の医療機関が当番制で受け入れを行う体制が整っています。重症者の場合は、伊豆の国市の医療機関まで搬送されることになり、特に重症または緊急を要する場合には、ドクターヘリも運航されています。

〔下田で子育て･教育環境〕

市内には、保育所２園、認定こども園２園で保育を行っており、都内で問題となっている待機児童数は、ほぼ０人！安心して保育園に入ることができます。また、通常の保育に加えて、障害児保育、病児・病後児保育も実施しています。

また、子育て支援センター、ファミリーサポートセンターが開設されている他、子ども医療費助成制度（高校３年生相当まで）自己負担なし、育児用品購入費助成制度、しずおか子育て優待カード制度、夏の海水浴場割引制度、不妊治療助成等、下田の子育て支援はとても充実しています。

子育てに関する情報は、「しもだ子育てガイドブック」が発行されており、母子手帳の交付から予防接種、市の助成制度などの情報がこの一冊でわかります。

※ガイドブックは、下田市ＨＰ又は下田市役所市民保健課窓口、福祉事務所窓口で配布しています。

教育施設は、幼稚園１園、認定こども園１園、小学校７校、中学校４校（令和４年度１校に統合予定）があります。高等学校は、市内には県立高校が１校（下田）、賀茂地域には県立高校が２校（稲取、松崎）あります。伊豆南部地域には大学や短大はなく、専門学校も看護系の学校が１校あるのみです。そのため高校を卒業して進学をするためには、ほとんどが市外に出なければなりません。

※下田高校には、理数科、普通科、園芸科【園芸科は南伊豆分校】があります。

〔お買い物環境〕

市内には、スーパー5 店舗、ホームセンター１店舗、ドラッグストア４店舗、家電量販店１店舗あります。スーパーには、新鮮な魚介類が豊富で、地場産品の直売所、無人売店には、朝採りの農産物などを手に入れることができます。

全国展開しているコンビニエンスストアは 13 店舗あり、店舗の場所は幹線道路沿いに集中しています。自家用車をお持ちでしたら、ほとんど不便なくご利用になれます。

各地域に小規模な商店はありますが、市内での飲食料品等の日常生活用品の買い物については市街地にあるスーパーが多く利用されています。地域によっては、車がないと生活が困難な場合もありますが、逆に言うと車があれば生活の利便性は確保されます。

ただし、市内には、映画館、ボウリング場、遊園地等の娯楽施設はありません。

◇市内の医療機関

（平成 31 年４月現在）

施　設　名　称	所　在　地	診　療　科　目
【病院】		
下田温泉病院	下田市柿崎	内・リハ
下田メディカルセンター	下田市六丁目	内・外・整・脳外・婦・眼・小・消・循・耳・泌・リハ・麻酔・皮　他
【診療所】		
荒木内科小児科医院	下田市四丁目	内・小
伊豆下田診療所	下田市西本郷	内・整外
いなずさ診療所	下田市箕作	内・外・小・リハ
上の山鎮目クリニック	下田市柿崎	内・脳神外・神内・リハ
臼井医院	下田市二丁目	内・小・産婦
小川クリニック	下田市蓮台寺	内・産婦
長田クリニック	下田市二丁目	内・皮
小澤眼科医院	下田市東本郷	眼
河井医院	下田市二丁目	外・整・消・小・リハ
菊池医院	下田市一丁目	内・小・消
佐倉医院	下田市旧岡方村	内・神内・循・呼
下田眼科クリニック	下田市西本郷	眼
下田循環器・腎臓クリニック	下田市高馬	内・外・循・泌・人工透析・アレ他
下田ヒフ科クリニック	下田市東本郷	皮・アレ
しらはまクリニック	下田市白浜	内・整
鈴木クリニック	下田市河内	内・胃・小
ひがしなかクリニック	下田市東中	内・小
下田精神分析クリニック	下田市須崎	内・精

■診療科目　内-内科、外-外科、整-整形外科、神内-神経内科、消-消化器科、胃-胃腸科、循-循環器科、小-小児科、婦-婦人科、産婦-産婦人科、リハ-リハビリテーション科、皮-皮膚科、眼-眼科、耳-耳鼻科、アレ-アレルギー科、呼-呼吸器科、泌-泌尿器科、麻-麻酔科、乳外-乳腺外科、放-放射線科、脳神外-脳神経外科、精-精神科、血内-血液内科、血外-血管外科

【歯科医院】

施設名称	所在地
臼井歯科医院	下田市六丁目
勝田歯科医院	下田市一丁目
菊池歯科医院	下田市二丁目
笹本歯科診療所	下田市二丁目
田原歯科医院	下田市五丁目
馬場歯科医院	下田市一丁目

施設名称	所在地
矯正歯科　兼松医院	下田市東本郷
杉山歯科診療所	下田市西本郷
土屋歯科医院	下田市東本郷
渡辺歯科医院	下田市西本郷
細川歯科医院	下田市東中
キクチ歯科医院	下田市河内

◇下田での生活ワンポイント情報修正箇所

〔上水道の接続〕（※給水区域の概要は、Ｐ-19 を参照）

下田市では、市の上水道の給水が全域に行き渡っていません。お住まいになる場所によっては、市の上水道と接続できない地域がありますので、事前に十分ご確認ください。

この場合には、個人で水源の確保や自宅までの水道施設の整備が必要だったり、住民の方が共同で管理している簡易水道組織への加入が必要となる場合があります。

〔下水道の接続〕（※下水道区域の概要は、Ｐ-20 を参照）

下田市では、市街地を中心に下水道が整備されています。また、下水道区域以外の地域は浄化槽による汚水処理を行っていますので、事前にご確認ください。

〔ごみの収集、分別収集〕

下田市では、一般可燃ごみの収集は、各地区を回って収集する方法と清掃センターにお持込いただく方法の２つをとっています。なお、地区での収集においては、収集箱を自治会単位で購入や製作しており、自治会に加入していない場合、近所であってもごみ収集箱が利用できないケースもありますので、区長等にあらかじめご確認ください。

また、ごみのリサイクルを推進するために各地区のリサイクルステーションにおけるリサイクル分別収集を実施しています。各地区では、このリサイクルにあわせて、収集場所の管理を区や組などの組織で順番に実施しており、年に１回から２回程度当番が回ってきます。

＜リサイクル回収の対象品目＞

缶（スチール・アルミ）、ビン（無色・茶色・その他の色）、ガラス陶器類、ペットボトル、小型粗大、乾電池、新聞・雑誌等、ダンボール、牛乳パック、廃食用油（植物性）、蛍光灯、金属キャップ

＜指定ごみ袋＞

各地区でごみを出す場合には、必ず市指定ごみ袋を使用していただくことが必要となります。指定ごみ袋は、市内のスーパー・小売店で購入できます。

＜ごみ持込料金＞

清掃センターにご自分でお持込みいただく場合には、品目や重量によって料金がかかります。

〔ガソリンスタンド〕

下田市は、観光地であることもあり、ガソリンスタンドは市内各地の幹線道路沿いに営業されていますが、首都圏等と比較するとガソリン代は高くなりがちな傾向にあります。

〔ガス〕

市内の中心市街地では都市ガス、その他の地域ではプロパンガスとなります。お住まいになる地域によりますので、事前にご確認ください。

〔金融機関〕

市内には、静岡銀行、スルガ銀行、静岡中央銀行、三島信用金庫、労働金庫、伊豆太陽農協、伊豆漁業協同組合が店舗をおいていますが、都市銀行はありませんので預金の管理などについては注意が必要です。また、郵便局は市内に６つの局があり窓口業務を行っています。

〔テレビを見るために必要なこと〕

下田市でテレビをご覧いただく場合、電波の届く場所では直接受信することができるほか、市内のケーブルテレビによる視聴もできます。しかし、本市は山が入り組んでいる複雑な地形のために、直接個人のアンテナで受信できるエリアが限られています。このため、難視聴地区では共聴組合を作って共同アンテナを設置していますおり、地区によっては、テレビを見るためにはこの共聴組合に加入する必要がありますので、事前にご確認ください。

〔携帯電話・スマートフォン・インターネット環境〕

携帯電話・スマートフォンは、市内のほぼ全域（可住地）で主要キャリアのものがご利用いただけます。しかし、地形が複雑なため接続可能エリアであっても通話状態の悪い場所も多くありますので、ご希望される地区の電波状況については、事前に各キャリアによくご確認されることをお勧めします。

インターネットについては、市内のほとんどの地域で光回線がご利用いただける環境となりました。

ＡＤＳＬについては、基地局からの距離や地形等の影響で通信速度におおきなバラつきがありますので、仕事や趣味などご利用になる形態を勘案していただき、事前にご確認ください。

〔自治会活動等における負担〕

市内には 40 の自治会があり、それぞれ「区」として運営されています。区に加入すると、区費、組費、消防協力費、テレビ組合費等の負担が発生するとともに、地区の清掃活動や環境保全活動、防災活動、ご近所の冠婚葬祭のお手伝い等への参加もあります。また、地域の神社等への加入により、負担金の支出や祭典への協力なども求められる場合があります。（※内容はお住まいになる地区によって異なります。）

しかし、地域の方と知り合いになり、地域の生活に溶け込むために、自治会への加入は大きなメリットがありますので、いたずらに負担と思わず、しっかり検討していただきたいと思います。

◇下田での暮らしを決める前に《田舎は意外と大変です》

〔テレビでは可愛い動物も田舎暮らしには強敵〕

田舎暮らしで忘れてはいけないのは、自然界の強敵です。

最近特に問題となっているのは、猪や猿、鹿などによる農作物への被害です。ほぼ市内の全域（市街地のすぐ近くでも）で被害を受けています。丹精こめて作った野菜や果物が、収穫直前で根こそぎやられてしまうことも珍しいことではありません。特に農業や家庭菜園をお考えの方はお気をつけください。また、当然ですが、田舎の暮らしには、蛇、ムカデ、蜂、蚊などはつきものです。こうした自然の敵との遭遇はあらかじめ覚悟しておいてください。

余談ですが、田舎の草はなかなかしぶとい！山や畑、広い庭などがある場合には、夏場は毎週のように草刈りをしないと大変なことになりますよ！！

〔テレビのような自給自足生活は期待しない〕

最近、テレビなどでは、海で魚介類を採り、野山で山菜を摘むといった山海の食材を自由にとって自給自足をする田舎暮らしが放映されます。四季折々の旬の食材が、いつでも誰にでも安く簡単に手に入るようなイメージをお持ちの方もいらっしゃるのではないでしょうか。

いくら田舎でも、それは夢です。海で魚介類を獲ろうとすれば漁業権が必要になり、野山ではその土地の所有者がいます。また、ご近所のプレゼントもよほど親しくならないと難しいのが現実でしょう。田舎暮らしとはいえ、その土地のルールやマナーを守ることや地域の方とのコミュニケーションがとても重要になります。あまり、心地よい放映等を鵜呑みにしないことが大切です。

〔自家用車は不可欠？？？〕

地図を見ると、電車やバスの路線が市内を網羅しているように見えます。

でも、その時刻表を見ると、1時間に1本とか1日数本という路線が大半です。また、場所によっては駅やバス停までも長い距離があるなど、都会の便利な交通機関とはまったく異なる環境です。病院に行くにも一日がかり、バス停を降りたら重い荷物を抱えて坂道を上るという場合もあります。

やはり、下田でのお住まいを検討される場合は、自家用車を用意することが必要になるのが実態です。都会で運転されていなかった方は、ペーパードライバー講習を受けたり、運転の復習をするなど、できるだけ自家用車を持つことをお勧めします。

◇下田市役所の組織・機構について

制度や仕組みなどについてもっと詳しいことをお知りになりたい場合は、下記の窓口へお問い合わせください。（※令和３年４月１日現在の機構です）

名　　称	主な業務内容	直通電話 （市外局番 0558）
議会事務局	議会	22-2220
総務課	法規条例、情報公開、人事	22-2211
	電算管理、統計	22-3921
企画課	総合計画、ふるさと納税、地方創生	22-2212
	秘書、広報、自治会関係、国際交流	
財務課	財政	22-3911
	庁舎管理、市有財産管理、財産区、行財政改革 入札、建設工事の検査	22-3912
税務課	各種税の課税、収納、滞納整理、証明	22-2218
防災安全課	防災、消防団、交通安全	36-4145
産業振興課	農業、林業、水産業、商工業、農業委員会、 漁港・農林道、移住、企業誘致	22-3914
観光交流課	観光振興、海水浴場、観光施設	22-3913
建設課	市営住宅、道路、河川、都市計画、都市公園、 建築基準法、景観法、伊豆縦貫自動車道、土地利用	22-2219
上下水道課	上水道、下水道	22-1200
市民保健課	戸籍、住民票、印鑑登録、住民登録	22-2215
	国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療、特定健診	22-3922
	健康診査、がん検診、予防接種、健康相談	22-2217
	介護保険	22-2077
	地域包括支援センター	36-4146
	新型コロナワクチン	36-4155
福祉事務所	老人福祉、児童福祉、民生･児童委員、人権擁護、 障害者福祉、生活保護	22-2216
環境対策課	ごみ収集、環境衛生、一般・産業廃棄物、飼い犬登録	22-6686
出納室	公金の出納、県証紙	22-2214
生涯学習課	社会教育、青少年教育、文化財、スポーツ、公民館	23-5055
	図書館	22-0352
学校教育課	幼稚園、保育所、小中学校、子育て支援センター	23-3929
選挙管理委員会	選挙	22-2211
監査委員事務局	監査	22-3916

※所管が不明なお問い合わせについては、総務課２２－２２１１（代表）をご利用ください。